

## 教員の取得学位及び主な著書・論文等

- ◆職 位：助教
- ◆氏 名：板津 良
- ◆取得学位：博士(看護学)
- ◆主な著書・論文等

著書・論文等の名称	全著者名	掲載誌名	出版年月 (西暦)	巻	号	頁	授業内容に反映している 科目名
Methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> Cross-Transmission in an Intensive Care Unit: Two High-Profile Cases Analysis using the PCR-based Open Reading Frame Typing Method.	Ryo Itazu, Hisako Yano, Shuhei Kondo, Nanako Hata, Tetsuya Tamura, Hiroyuki Hirate, Kazuya Sobue.	Nagoya Medical Journal	2023年5月	57	2	73-82	基礎看護技術Ⅱ
集中治療室における Methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> に関連した危険因子と感染予防対策についての文献的考察	板津良、矢野久子	愛知医科大学看護学部 紀要	2022年12月		21	25-33	基礎看護技術Ⅱ
新型コロナウイルス感染拡大の影響下における若手教員を対象としたFD活動の実際と評価	板津良、河井丈幸、児玉まゆみ、中村正子、白井裕子、山本恵美子、三浦裕次、阿部恵子	愛知医科大学看護学部 紀要	2022年12月		21	63-66	
看護基礎教育課程最終学年次に COVID-19 感染拡大の影響を受けた 2021 年度新人看護師が持つ教育ニーズに関する研究	中山綾子、山本恵美子、山中真、板津良、岡本悦子、富石香代子、村松有紀	愛知医科大学看護学部 紀要	2022年12月		21	15-24	
救急領域を含めたICUにおけるMRSA交差伝播に関連する危険因子の検討	板津良、矢野久子、安岡砂織、田村哲也、平手博之、祖父江和哉	日本救急医学会中部地方会誌	2021年12月	17		1-5	基礎看護技術Ⅱ
コロナ禍に伴った自己練習時間短縮がバイタルサイン測定技術試験に与えた影響	板津良、中山綾子、山中真、黒澤昌洋、山幡朗子、山本恵美子、伊藤眞由美、篠田かおる	インターナショナル Nursing Care Research	2021年10月	20	3	49-57	ヘルスアセスメント

看護学部および日本語教員課程の学生の学び ー防災活動を立案・実施する協働プログラムか らー	河村諒、板津良、宮谷敦 美、東弘子、坂本真理子	インターナショナル Nursing Care Research	2020年4月	19	1	87-97	
ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護④ 血液／アレルギー・膠原病／感染症	【編集】薊隆文、矢野久 子 【執筆(掲載順)】薊隆文、 伊藤旭、福井幸子、浅野 有彩、菅野かおり、金森 貴之、立田卓登、吉川寛 美、前田ひとみ、佐久間 英輔、脇本寛子、安岡砂 織、板津良、新改法子、 住田千鶴子、矢野邦夫、 吉田敦、畑七奈子、青山 恵美、矢野久子、村端真 由美、金子典代、高橋孝、 高久道子、南里純代	ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護④ 血液／ アレルギー・膠原病／感 染症 メディカ出版	2020年1月			249-264 406-408	

#### ◆競争的資金による主な研究

研究テーマ	実施年月(期間)	外部資金名	授業内容に反映している科目名
ICUにおける薬剤耐性菌 MRSA 持込に関する危険因子の多施設 研究と伝播予防策の構築	2024～2026 年度	科学研究費助成事業 (学術研究助成基 金助成金) (若手研究)	基礎看護技術 II
集中治療室における薬剤耐性菌 MRSA 交差伝播の危険因子とリ スク低減ケア方策の解明	2020～2023 年度	科学研究費助成事業 (学術研究助成基 金助成金) (若手研究)	基礎看護技術 II
集中治療室における MRSA 持込患者の実態と危険因子の検討	2019 年度	愛知医科大学看護学部研究助成金	